

2013べっぴん男女共同参画フォーラム(報告)

～ 2013.10.19(土) ニューライフプラザでフォーラムを開催～  
およそ130人の参加がありました。今年も、ぜひ、あなたも!

第1部 ミニコンサート「APU Ina」 6名によるインドネシア民族舞踊

立命館アジア太平洋大学のインドネシア会の皆さんです。鮮やかな衣装で、にこやかに登場。参加者も一緒になって踊り異文化に触れあいました。



民族舞踊は初めて見ましたがとっても楽しい。美しい衣装にインドネシアの文化を見た感じで感動しました。いいですね!(60代)

踊りがとてもかわいかったです。一緒に踊れたのも良かったです。(30代)

留学生のまちとして、様々な国の文化・芸能を体験できることはすばらしい。(50代)

第2部 講演「人生いろいろ夫もいろいろ」

講演要旨

講師：山田 亮さん  
家事ジャーナリスト  
楽家事ゼミ主宰



「結婚」「主夫生活」「育児」の3つの区切りと3つの壁を体験。行き詰ったことがあるから今がある。人生一切の無駄なし。

「分担参画」ではなく共有・共同こそ真の「男女共同参画」。

第一の壁 マリッジフルー

◆「男は仕事・女は家事」という性別役割分担に、やはりこだわっていた。  
◎支え合う『人』型より、手をつなぎ合う『M』型になると妻と話し合った。

第二の壁 主夫フルー

◆多忙な妻に代わり主夫生活を送っていたが、暇があると「いつでもできる」と、かえって何もしなくなった。  
◎仕事があるから家事も回る。生活も回る。ワークライフバランスの大切さを痛感した。  
◎ホームページに家事のページを掲載。すると新聞への掲載を依頼され楽家事ゼミ主宰へとつながった。

第三の壁 育児フルー (→夫婦の危機)

◆娘が予想に反し「待機児童」となり、仕事が回らなくなった。良い父をめざし我慢し続けた結果、自律神経失調と診断された。  
◎医師のアドバイスで生活の見直しを図った。娘をバトンにした「バトンタッチ夫婦」でコミュニケーションが不足していたと認識した。  
◎「時間と経験を共有することが大切。共有が増えると共感できる。」と考え実践。夫婦の絆を取り戻した。

近々結婚する予定の自分にとって、とても参考になった。(30代)

家事テクニックの紹介もあり、話題豊富でした。(40代)

共同しているつもりでも分担の細分化をしていたと気付かされました。もう一度共同の意味を考えてやっていこうと思います。(30代)

若い人たちに聞かせたい話でしたが楽しかったです。分担生活じゃなく共同生活は良い言葉でした。(60代)

山田さんのこれまでの経験、家事・育児の話がとても興味深かった。体調を崩したり、いろいろなことを乗り越えてがんばっている姿に感動した。(30代)

湯のまち「べっぴん」

男女 共同参画

あすてっぴ

～誰もが自分らしく輝くために～

★キラリ!輝く人み～つけた★

弁護士 大野美香さん

★ 男性にとっての男女共同参画  
★ 2013べっぴん男女共同参画フォーラム(報告)

別府市男女共同参画標語・川柳コンクール最優秀作品

あすてっぴの愛称…「あす」は明日と英語で私たちを表す us を意味し、「ステップ」は英語で足取りや歩調、そして段階を表す step、また、「び」は別府の「府」です。私たちの明日の未来の男女共同参画のまち別府を性別にとらわれず、自分らしく自分の足取りで生きていこうという気持ちを込めています。

発行：別府市自治振興課 〒874-8511 別府市上野口町1番15号 編集：あすてっぴ市民編集委員  
TEL 0977-21-1141 FAX 0977-21-6399 E-メール aup-pf@city.beppu.oita.jp  
男女共同参画の推進について、ご意見・ご質問をお寄せください。

# ★きらり！輝く人み～つけた★



今号の「きらり！」は、別府市で女性初の弁護士事務所を開業した **大野 美香** さんです。

## ★プロフィール★

別府市の小学校・中学校・高等学校を卒業後、県外の大学、法科大学院を経て、平成25年7月 別府総合法律事務所開業

## I 弁護士をめざそうと思われてから開業までの経緯を教えてください

小学校1年生のとき、六法全書を見て感激しました。辞書とは違う難しい本だな、これを全部理解し使えたらカッコいいなあと思いました。

大学時代は法学部で法律を学んでいましたが、「歌手」も考えていました。街のクラブで専属歌手をしていましたが、その道の険しさを痛感し、歌手をあきらめ、難関の司法試験に挑戦しようと考えて、本格的に弁護士をめざし始めました。

大学を卒業後、予備校に通い、法科大学院を経て、昨年7月に事務所を開業することができました。

暗記することが小さいときから得意だったので、勉強は苦になりませんでした。睡眠時間以外は受験勉強をしていました。母が「最後までやりなさい」と私を信じて応援してくれたので、それに応えてがんばることができました。

## II 弁護士の仕事内容を具体的に教えてください

- ① 電話でアポイントを取られた方の事務所での相談対応
- ② 「法テラス」の契約弁護士として、無料相談の受付・対応
- ③ 月に1度、アライアンスタワーZ（別府市中央公民館前）で行われる「朝市」（10:00～15:00）での無料相談などです。

離婚に関することやDV、ストーカー等、女性からの悩み相談が多いです。通信教育でメンタルケア心理士の資格を取得したので、それを活かし、法律的解釈だけでなく心理面での理解を促し解決できる弁護士でありたいと思っています。

## III 法律家として私たち市民にひと言アドバイスをお願いします

- ① 書面に残す意識を持って！（証拠を残す）  
ex. お金を貸したり、返したりしたときに、書面がないと解決が困難になることがあります。
- ② 早期相談を！（些細なことでも、すぐ相談を！）  
ex. 自分自身で判断し、後になって問題が大きくなってしまい、解決が困難になるケースもあります。

## IV 弁護士としてのこれからの抱負を聞かせてください

生まれ育った別府市で開業し、別府市の皆さんのお役に立ちたいと考えていました。弁護士事務所は敷居が高いと言われていますが、相談しやすく、アットホームな弁護士事務所になりたいと思っています。

特に、女性が話しやすい空間を作っていけるように取り組んでいるところです。

### 法テラスって？

➡ 国によって設立された法的トラブル解決のための「総合案内所」です。各種相談窓口の無料案内や、経済的に余裕がない方への無料法律相談、費用立替等の業務を行っています。

### DV法って？

（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）  
➡ 法律の制定により、DVを犯罪として、警察が加害者を逮捕・連行することや、被害者を保護することができるようになりました。また、1月からは、適用範囲が、「生活の本拠を共にする交際相手」にまで広がりました。



### 大野美香さんエピソード

大学時代にはモトクロス部に所属し、大型2輪免許を取得したそうです！  
趣味が多様な大野さんに親近感を抱いたひとときでした！

### 《編集後記》

女性の教育権利を訴えていたマララ・ユスフザイさんが、2012年10月にタリバンから銃撃されましたが、ようやく命を取り留め、2013年7月には国連で演説を行いました。16歳の勇気に感動を覚えた1年でした。

男女を分けるのではなく、ともに手を取り一緒に活動することの意義を提案する「あすてっぷ」でありたいと感じました。

市民編集委員 高島壽子・柿本規子

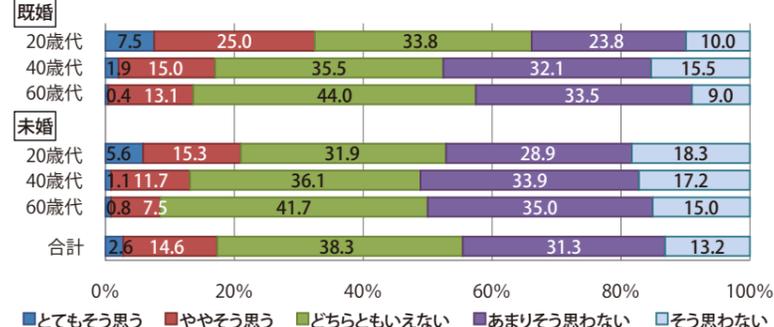


## 男性にとっての男女共同参画

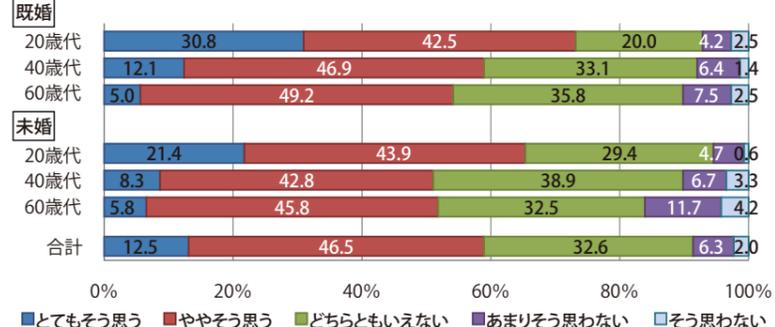
男性と女性ではだいぶ感覚が違うようワニ。あなたはど感じるワニ？



（男性）悩みがあったら、気軽に誰かに相談するほうである



（女性）夫には、悩みがあったら気軽に誰かに相談してほしい



「男性にとっての男女共同参画に関する意識調査」(内閣府・H23年度実施)より

## 別府市男女共同参画センター あす・べっぷ からのお知らせ

あす・べっぷでは、「相談・学習・交流・情報」の4つの機能を柱に、市民の皆さんに向けた事業を展開しています。

**相談**・・・女性が抱える悩みを、女性相談員が電話や面接でお伺いします。  
★相談窓口電話番号★  
**TEL 0977-21-7820**

**学習**・・・さまざまなテーマで市民向けの講座を行っています。受講料は無料(原則)ですが、受講には事前の申し込みが必要です。

受講している間、お子さんをお預かりする「託児サービス」も行っています。

☆DVや法律をテーマにした講座も行います。



**交流**・・・1階ロビーや交流室では、「べっぷ男女共同参画協議会」を構成する団体や個人(男女共同参画の推進を目的とする団体・個人)が交流し、情報交換を行っています。

**情報**・・・1階ロビーに図書コーナーを設けて、男女共同参画に関する書籍や雑誌をメインに設置しています。貸出は行っていませんが、図書コーナーでどなたでもゆっくり閲覧できます。また、検索用のパソコンも設置しています。



あす・べっぷの概要や講座内容、設置図書一覧等、詳細はホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.beppu.oita.jp/asubeppu/>

## 別府市男女共同参画センター「あす・べっぷ」

住所：別府市大字別府字野口原3030番地の1  
電話：0977-21-8289

※講座のお申込・お問い合わせは  
自治振興課男女共同参画推進室 0977-21-1141へ

左のグラフは、男性自身の男性に関する固定的性別役割分担意識\*について行った「男性にとっての男女共同参画に関する意識調査」“④私的感情の抑制志向”の調査結果です。(平成23年度・内閣府)

「悩みがあったら、気軽に誰かに相談するほうである」と回答した男性は全体の2割弱で、年代が高くなるほどまわりにプライベートな感情を見せない傾向がみられます。

女性では、「夫には、悩みがあったら誰かに気軽に相談してほしい」とする回答が、年代に関わらず全体の約6割に上っており、男性との志向に大きな差があることがみてとれます。

\* 固定的性別役割分担意識…「男性は仕事・女性は家庭」「男性が主・女性が従」など、性別を理由として役割を固定的に分けること。

男は泣くな！



男だって悩みもあるし、泣きたいときもあって当然！



男性にとっても女性にとっても生きやすい「男女共同参画社会」へ。